

氏名	岡 橋 清
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙 第 198 号
学位授与の日付	昭和41年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	異形吸虫類に関する研究 第1編 鎌形異形吸虫のニワトリおよびラットに対する感染 試験ならびに形態学的考察 第2編 ドジョウに寄生するメタゴニムス属吸虫の鳥類に 対する感染試験およびその成虫について 第3編 横川吸虫 <i>metacercaria</i> の人口飼養実験 第4編 横川吸虫の子宮内卵の配列経過ならびにその排卵数 について
論文審査委員	教授 稲臣 成一 教授 村上 栄 教授 小川 勝士

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

イナ筋肉内寄生の鎌形吸虫 *metacercaria* をニワトリ及びラットに経口投与し夫々に感染率前者25.6%後者22.5%で感染率では大差がなかった。また寄生部位は両者共小腸中部以下で虫体の発育卵子の増加、排卵開始日などはニワトリがラットより早期に出現し、鳥類にも寄生しうることを明確にした。また広島県芦田川産ドジョウに寄生する *metacercaria* は *Metagonimus* 属のものを含み5種あった。この内 *Metagonimus takaharhii* が最も多く、この *metacercaria* をニワトリ・カナリア・メジロ及びラットに経口投与し夫々の小腸内に多くの虫体を見出した。この虫体はラットにおいて発育が最も良好であった。また横川吸虫 *metacercaria* を人工飼養し、ブドウ糖が *metacercaria* の発育を促進させる事を証明し、低温処理で長く生存し、34日でも感染可能であった。なお横川吸虫では感染後4日目で子宮内に未着色卵を、6日目に着色卵が出来、排卵開始は9～16日目、排卵完了は人体寄生例で3年目、1日1隻の排卵数はラット感染後180日目で6～14個であることを確認した。

昭和41年1月 岡山医学会雑誌 第78巻第1号

論文審査の結果の要旨

本研究は、異形吸虫類の感染機序ことに鳥類への感染試験を行い、哺乳類のそれと大差なき事をみとめると共に横川吸虫の卵発育機構を解明したもので、吸虫類の研究に貢献する所が多いものである。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。